

大学の世界展開力強化事業（平成27年度選定）中間評価結果

大 学 名	筑波大学
整 理 番 号	L-2
事 業 名	持続的な社会の安全・安心に貢献するトランスパシフィック協働人材育成プログラム

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">A	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	<p> 本事業は、中南米研究の実績を有する筑波大学において、我が国と中南米諸国の架け橋となるトランスパシフィック・コネクティビティの強化という構想の下、地球規模課題の解決に向けた協働教育により中南米諸国の社会基盤形成を担う人材育成と、相互関係構築に即戦力となる協働人材の育成を目指している。 </p> <p> 事業展開については、大学の「国際性の日常化」という中長期的なビジョンの下、グローバル・コモンズ機構を中心に海外派遣に関する情報提供や各種支援、安全管理について一元に対応する体制が整えられており、学生の海外派遣情報をリアルタイムに把握するとともに安否確認も行うシステムの整備など、これまでの豊富な国際交流が危機管理体制に活かされている点は評価できる。これらは他大学の参考となる点が多数あることから、今後、幅広い広報活動と教示による社会還元が期待される。また、全学的な国際化への取組と連動して着実な事業運営の実施にあたっては、共同プログラム運営委員会での進捗状況の確認や課題の共有により、相手大学6校との間で改善に努めている。 </p> <p> 一方で、学生交流は概ね順調に推移しているが、学生の専門分野も広範囲に及ぶことから、質の保証の確保に十分な検討と対策が望まれる。 </p> <p> 最後に、今後も補助期間終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と、将来の我が国の更なる発展に向け、積極的な事業展開に取り組まれることを期待する。 </p>